

# たんぽぽ うしん

第40号

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会/アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫  
〒002-8071 札幌市北区あいの里 1条6丁目 1-2 TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112  
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp  
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 [発行] 2016年6月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円



## 就任のごあいさつ

社会福祉法人 札幌協働福祉会 常務理事 池田 亮

平成28年度の新体制が決まり、4月より常務理事を拝命しました。このひと月は、スタートしたと思った途端に終わってしまい、今年度もこのまま過ぎていくとあっという間にお正月が来てしまうのではないかと感じてしまいます。平成7年、篠路清掃工場横の札幌市実験農場がさとらんどへ移転したのを機に、あいのさとアクティビティセンター(当時は通所授産施設30名、スタッフ8名)を立ち上げてから21年が経ちました。現在では保育・障がい・介護の19事業所を持ち、利用される方は400名を超えています。この間、数々の場面で地域の皆様にご理解とご協力を頂いたからこそこの札幌協働福祉会ということに改めて感じています。

昨年10月、地区センターの横に拓北・あいの里福祉センターをオープンさせていただきました。高齢者ケア付き住居・小規模多機能・児童発達支援センター・相談室を置き、課題は山積みではありますが、何とか半年が過ぎました。住居のお食事作りをしながら、1階のレストラン「食彩フェリシア」も当面ランチ限定30食のみですが始めました。今後はランチ以外のメニューや夜の営業も充実させたいと考えております。4月からは、駅前手風琴さんの横に就労支援事業所「陽だまりの

CoCo(ここ)」を、駅前クリーンリバーマンション下に「やすらぎの里 CoCo(ここ)」をオープンしました。ここでは、コーヒー豆の焙煎や無農薬低農薬の野菜などを取り扱いながら、余市・仁木町の農家さんとも契約し販売を行っております。きっかけは、5年前の東日本大震災後、放射能から逃れる避難家族や子どもたちを仁木町の山の家で受け入れたところから地域の方々とながりが広がった経緯もあり、今も受け入れを行ったり地元の野菜を福島に届けています。この時も、夏・冬休みの子どもたち受け入れ時に拓北・あいの里でホームステイのご協力もしていただきました。

また、拓北高校の跡には札幌あいの里高等支援学校も始めました。初年度は46名からのスタートと聞いております。この地域には拓北養護学校もあり、更なる体制の強化と連携を図っていかねばなりません。

盛りだくさんの課題を抱えてはいますが、拓北・あいの里連合町内会をはじめ皆さまのご協力を頂きながら、地域の一資源として活用していただけるよう事業を進めていきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

### 行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

- 6月26日(日) あいあいウォーク(5・10・20キロ)
- 7月3日(日)～4日(月) 拓北・あいの里連合町内会一泊旅行

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 6月8日(水) さわやかパークゴルフ大会 場所：茨戸川緑地
- 6月20日(月)～7月15日(金) 札幌協働福祉会 各事業所夏キャンプ
- 7月3日(日) 仁木さくらんぼフェスティバル(農村公園フルーツパークにき)



4/15(金)

## 新人職員研修

4月15日午後、札幌協働福祉会は平成28年度採用の職員(18名)を対象にした研修会を福祉センター会議室で開きました。

研修会は最初に辰田理事長、続いて宮野副理事長が法人理念を皆さんへ説明し、新しい職場での活躍を期待されました。研修会の最後は、4月7日にオープンしたばかりの1階レストラン「食彩フェリシア」での会食。皆さんはグラスを手に「よろしくお願いします」と交流を深めていました。



法人理念などが説明された新人研修会



「よろしくお願いします」とグラスを交わす新人職員の皆さん

4/23(土)

## 協力会総会

4月23日、平成28年度「アクティビティー・サポートセンター協力会総会」が拓北・あいの里地区センターで開かれ、会員の皆さん、協働福祉会スタッフらが多数集まりました。この日は普段、顔を合わせる機会も少ない会員の皆さんが揃い、様々な意見の交換で実り豊かな総会となりました。



牧野会長が挨拶に立ち、「忌憚のないご意見を聞かせてください」と、会場の皆さんに呼びかけました



池田常務理事の挨拶で始まった総会



総会終了後、テーブルを囲み懇親会

4/29(金)~30(土)

## 北湯沢温泉一泊旅行

春の大型連休がスタートした4月29日、30日の両日、アクティビティー・サポートセンター協力会と協働福祉会余暇支援部は、新年度の企画第一弾として胆振管内伊達市にある北湯沢温泉への一泊旅行を行いました。

初日の29日は生憎の天候、移動途中の中山峠では小雪が舞い、季節外れの冬景色に皆さんからは驚きの声。しかし元気な参加者110名を乗せた法人車両6台は春の淡雪を蹴散らしながら湯煙の里をめざしました。



ユーザーさんの作品が展示されている道の駅「大滝フォレスト」にて



小雪舞うなか、半そで姿で歩く元気な方も



道の駅「だて歴史の杜」にて



恒例!カラオケタイム



大宴会は、歌に踊りと盛り上がりました!

# 新人職員紹介

~2016年度 その①~

今年度の新人職員を紹介いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

- ①出身地(都道府県と市町村名) ②趣味・特技 ③好きな食べ物 ④尊敬する人 ⑤夢・目標

札幌協働福祉会本部 高森 政行



この4月から本部の事務局長兼総務部長として勤務しております高森と申します。3月までは札幌市社会福祉協議会で、総務と地域福祉(福まち、民生委員の活動等)に関わる仕事をしておりました。

当福祉会は、今年で設立38年を迎え、子ども・障がい者そしてお年寄りなど様々な立場の方々を対象とした事業を展開しています。これを支える本部の一員としてこれまでの経験を活かして、当福祉会の適正な運営・管理に寄与できればと考えています。よろしくお願いいたします。

ふれあいセンター A・yell

きのした かな 木下 華奈



- ①札幌市 ②バスケットボール、楽器演奏(ドラムなど) ③プリン ④母 ⑤健康的かつ美味しい食事の提供できる栄養士になること

あいのさと アクティビティーセンター 小 林 秀 紀



- ①札幌市 ②登山、旅行、写真撮影、読書、洋画ビデオ鑑賞 ③刺身、焼肉、ラーメン ④特にいません ⑤日本一周旅行。3000m級日本の山を全制覇

たくあいアクティビティ 「むう(夢)」

いしがめ とみ 石 亀 智 美



- ①羅臼町 ②釣り ③お米・お魚 ④親 ⑤1日でも早く立派な言語聴覚士となり、あいの里を福祉の町にすることに貢献することです

あいのさとサポートセンター 石 川 鈴 菜



- ①斜里町 ②特技：バスケットボール ③焼き肉のタン ④父と母 ⑤管理栄養士の資格を取得し、利用者の皆様に安全で美味しい給食を提供することができるようにしたいです。

札幌協働保育園 ま 前 田 雪 花



- ①恵庭市 ②洋服、旅行、バレーボール ③焼き肉、春菊 ④お母さん ⑤笑顔で視野を広く持って行動したいです。

札幌協働保育園 な 永 澤 陽 子



- ①室蘭市 ②TVドラマを見ること ③ラーメン(みそ)・肉 ④性格がおだやかで自分の事を1番後回しにできる人 ⑤家を建てたい

札幌協働保育園 お 小 倉 直 幸



- ①札幌市 ②とにかく運動すること、テニス ③お肉 ④両親 ⑤早く東京ディズニーランドに行きたい

札幌協働保育園 い 伊 藤 美 礼



- ①札幌市 ②趣味：読書 ③あけび・オムライス ④母 ⑤夢：幼稚園の頃から保育士 目標：保護者にも子どもにも安心してもらえる保育士になる

# インタビュー 15 その②

NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター  
代表理事

たけだ たもつ  
**竹田 保氏**

「1年間のコンピュータプログラマー養成講座を終えて、就職できなかった11名の居場所としてスタートした小規模作業所ホップのその後。」

▼前はホップの活動が始まるまでの経緯を伺ったのですが、その後の展開は？

**竹田氏** 本当に狭い事務所を借りました。机も何もない状態からの出発です。電話を引くのにかかる電話債券7万円もなくて、みんなでお金を出し合いました。家賃を払ったら補助金も残らないという状態でしたが、私の勤めている会社やボランティアで関わっていただいた方の関係先から仕事を出してもらうなどして、なんとかやっていけるようになりました。ある時、1,000万円近いコンピュータの仕事を受注できて喜んでいたら、半年後に発注元が倒産し、大きな借金を背負った時期がありました。あの時は必死でした。でも、自分たちが稼がないと作業所を維持できない、自分が経営者という意識をみんな持っていましたね。

▼障がい当事者が立ち上げた事業、熱い思いが伝わってきますね。

**竹田氏** 「働く」ということが強い目的としてあったんですね。それなしに生活する意欲がわかない、働くことで尊厳を実感できる、そういう時

代でした。ただ、利用しているメンバーは家族に送迎してもらおう人もいて、家族が入院すると本人までショートステイで入院しないと生活できない。今のようにヘルパーがいる時代ではない。働くために、通う手段やお風呂に入ったり、就寝するという日常生活を支える必要が出てきました。それを自分たちの手で確保しようと、移送サービスやヘルパー派遣を始めたのです。

事業というより、自分たちが働くため、生活していくための手段として、生活と仕事を継続して行くために必要だったのです。それが時代の変化とともに福祉事業に変わってきたのですが、気がついたらホップの今日の事業展開になっていました。

▼いまのホップの概要を教えてください。

**竹田氏** 生活介護、就労支援B型、自立訓練、ヘルパー派遣、移送サービス、グループホームなど障がい系の生活支援事業はほぼやっています。利用者さんはグループ全体で350人くらい。職員はパートさん入れて約190人です。

<次号に続く>

## 地域行事の紹介

### 連合町内会 表彰式と交流会

5月14日(土)午後、平成28年度「拓北・あいの里連合町内会」の表彰式と地区交流会が拓北・あいの里地区センターで開かれました。

交流会に先立ち地域活動に貢献された方々への表彰が行われ、6名の方に表彰状と記念品が手渡されました。続いて地区交流会に入り、最初に拓北・あいの里連合町内会・松井正彦会長が役員交代を発表し、三期6年務めた会長を今回で勇退、後任に近藤幸一氏を新会長として選任し、新たな街づくりをめざすことになりました。



伊藤英夫篠路連合町内会会長の祝杯



近藤幸一新会長  
松井会長の勇退発表

## 事業所紹介コーナー ①6

### 陽だまりのCoCo(ここ)

【障がい福祉サービス事業】

就労継続支援B型

2016年4月開設

札幌市北区あいの里1条4丁目13-1

TEL 011-770-5333/FAX 011-778-5710

◇併設店舗「やすらぎの里CoCo」

札幌市北区あいの里1条6丁目2-1

クリーンリバーA棟 1階テナント

TEL 011-770-5005/FAX 011-770-5006



陽だまりのCoCo



やすらぎの里CoCo



たくさんの野菜や果物が並ぶ店内



オープン初日は、仁木町のリンゴがあっという間に完売しました

「陽だまりのCoCo」は障がい者就労支援の事業所として、4月に開設しました。

あいの里教育大駅から徒歩2分の中心部に位置しています。

事業所名のCoは共同(協働)の意味で、コラボレーションの頭文字です。

職員、利用者共に協力し合って「あったかい、心のかよう」事業所にしたいという思いから名前を付けました。

札幌協働福祉会では、福島県の被災された子どもたちの保養の場として、仁木町冷水峠にある施設「山の家きょうどう」を提供し、夏休み・冬休みの年2回、保養プログラムを行ってきました。その中で余市町、仁木町の農家さんに『安心・安全』な野菜や果物を提供して頂き、それを食べた子どもたちが元気に福島に帰っていきました。その事が縁となって余市町、仁木町の農家さんととても良い関係ができました。

そんな美味しく『安心・安全』な野菜やフルーツを利用者さんはじめ、拓北・あいの里の人たちに提供できたら素晴らしいと思うようになりました。

併設店舗「やすらぎの里CoCo」では余市町、仁木町の農産品、特産品やふれあいセンターのパンの販売を行っています。

気軽にご来店下さい。お待ちしております。

【文・陽だまりのCoCo 阿部 義一】

### やすらぎの里CoCo

無農薬・低農薬でお作りした  
北海道産のお野菜と加工品・  
道産小麦パン等を販売するお店です。



■営業時間 11:00~17:00

■定休日 日曜・月曜

札幌市北区あいの里1条6丁目2-1

クリーンリバーA棟 1階テナント

TEL 011-770-5005/FAX 011-770-5006

# 山の家通信



仁木町冷水峠にある保養施設  
“山の家きょうどう”からの通信を掲載  
します。

## 熊本地震、多大な寄付金や支援物資ありがとうございます。 札幌協働福祉会、職員を派遣しボランティア活動を展開

4月14日に発生し、甚大な被害をもたらした熊本地震はいまも余震が続き、被災者のみなさんの不安な毎日が続いています。札幌協働福祉会はホップ障害者支援センター(東区)とともに、4月19日から延べ6人の職員を派遣し、支援活動を行ってきました。活動内容は、主に宇城市での物資の配送作業で、日本財団から寄付された4トン保冷車が活躍。守田憲史市長から感謝と「札幌で災害が起こったら、必ず支援に行きます」との言葉をいただきました。

拓北・あいの里地区のみなさんをはじめ、多くの市民のみなさんから支援物資の提供、寄付金をいただき、心からのお礼を申し上げます。物資は被災者の皆さんにお届けし、大変喜んでいただきました。また、寄付金は現地での活動に使わせていただきました。今後も引き続いて支援活動を続けていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



たくさんの方の支援物資を積み込み熊本へ出発



地震で被害を受けた家屋

第16回

社会福祉法人 札幌協働福祉会主催

## 高岡・スウェーデンヒルズ祭

毎年恒例の  
お楽しみ「抽選会」  
もあります!

◎日時: 6/11(土) 11:45 ~ 15:00

◎場所: 石狩郡当別町高岡 1813-1  
当別・高岡アクティビティーセンター  
グラウンド特設ステージ

◎問合せ: 当別・高岡アクティビティー  
センター  
TEL: 0133-25-3661

無料送迎  
バス運行

〈出演者〉 司会: よねさんこと  
谷崎尚之さん

- ・ドリームズマウンテン
- ・ずっこけダンサーズ
- ・自衛隊滝川第11旅団音楽隊
- ・さっぽろ五郎連
- ・ひょっとこ踊り
- ・ひらぶきゆうこ など

〈出店〉

- やきそば・やきとり・綿あめ
- いか焼き・ジュース・ビール
- 当別地域活動支援センター
- 「つくしの郷」
- 自然志向の店あくていぶ
- やすらぎの里 CoCo など

※出演者及び出店が変更になる場合がございます。

市内配達  
無料です!

自然志向の店 **あくていぶ**

~6月の特売品~

シャボン玉

◇酸素系漂白剤 432円 → **359円**  
(750g×1袋)



第1回マルシェ(朝市)は大好評!

■5月21日(土)10時より、「あくていぶ」前にて第1回マルシェ(朝市)を開催いたしました。当日は、快晴のなか旬の野菜を求め、たくさんのお客さんと賑わいました。

次回  
**6/18(土)**  
開催!

※掲載商品は、ほんの一部です。

自然志向の店  
**あくていぶ**

■営業時間 平日 10:00 ~ 17:00

■定休日 土曜・日曜・祝日

<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>

札幌市北区あいの里3条4丁目9-1 (歩道橋すぐ横)

TEL 011-778-2377 FAX 011-778-2375

「自然志向の店あくていぶ」は障がいのある方への就労支援を行っているお店です。



HSK たんぽぽ(うい) 第40号

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会  
アクティビティー・サポートセンター協力会  
TEL 011-770-5225  
FAX 011-770-5112 (福田、松岡)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻531号  
[発行] 2016年6月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円  
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会  
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫  
〒002-8071 札幌市北区あいの里1条6丁目1-2  
TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112  
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子